

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	都市整備部長 田中 新一
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 3-(1) みどり	施策の方針	3-(1)-②都市公園の整備・管理
目標とするまちの姿	利用者の多様なニーズや特性に応じた整備・管理が行われ、都市公園が市民等の憩いの場所として親しまれています。また、地域コミュニティの創出や防災、環境負荷軽減など安全で安心な都市環境形成に重要な役割を果たしています。		
主な取組	(1)多様な都市公園の整備 山崎・台峯緑地をはじめ、利用者の多様なニーズや特性に対応した都市公園の整備に努めます。 (2)都市公園の適正な管理 老朽化した公園施設の計画的な修繕や更新、適切な植生管理を行い、ライフサイクルコストの軽減を図りながら、都市公園の質の向上を目指します。		

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

- ・山崎・台峯緑地等の用地を取得する。
- ・山崎・台峯緑地(都市緑地)実施設計策定業務委託等を実施する。
- ・都市公園について、指定管理者による維持管理を実施する。
- ・公園施設長寿命化計画に基づく施設の更新修繕を行う。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	963,324	620,473	493,930	730,708	753,495	777,914
人件費	81,811	65,031	62,068	86,228	92,941	95,808
総事業費	1,045,135	685,504	555,998	816,936	846,436	873,722

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	都整-31	緑地維持管理事業		131,145	19,604	150,749	拡充	A	拡充
重	都整-32	緑地維持管理計画推進事業		12,591	16,566	29,157	拡充	A	拡充
	都整-33	公園維持管理事業		527,985	33,132	561,117	現状維持	A	現状維持
重	都整-34	公園整備事業		60,675	13,253	73,928	現状維持	A	現状維持
重	都整-35	公園用地取得事業		45,518	13,253	58,771	休止・廃止	A	休止・廃止

4. 評価対象年度の実施内容

- ・山崎・台峯緑地等の用地を取得し、供用区域拡大に向け準備を行った。
- ・山崎・台峯緑地(都市緑地)実施設計を策定した。
- ・都市公園について、指定管理者による維持管理を実施した。
- ・公園施設長寿命化計画に基づく施設の更新修繕を行った。

※実施できなかった事業とその理由

山崎・台峯緑地の用地取得において、国の交付金の交付率が約45%であったことから、年度当初に予定していた部分の用地取得を一部できなかった。

5. 成果指標

成果指標①		人口一人当たりの都市公園の面積						出典	所管課調べ	
	平成31年4月1日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	8.7	目標値	9.8	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	㎡/人	実績値は評価対象年度翌年の4月1日時点
		実績値	9.8	9.9	10.39	10.42	10.49	10.55		
		達成率	100.0%	96.1%	100.9%	101.2%	101.8%	102.4%	%	

成果指標②		公園施設の修繕・更新率						出典	鎌倉市公園施設長寿命化計画	
	令和2年3月31日	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	0.2	目標値	6.8	11.6	17.3	26.8	39.4	50.1	%	
		実績値	4.3	10.4	10.7	17.5	37.6	56.5		
		達成率	63.2%	89.7%	61.8%	65.3%	95.4%	112.8%	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

- ・人口一人当たりの都市公園の面積については、山崎・台峯緑地(風致公園)の供用区域を拡大したことにより、令和4年度中に目標値を達成しており、SDGsのゴール・ターゲット「森の豊かさを守ろう」等の達成にも寄与している。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新修繕を行った。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

- ・山崎・台峯緑地の一部用地取得により、豊かな自然環境とのふれあいの場を創出するとともに、生物多様性や二酸化炭素の吸収・貯蔵、雨水の一時貯留等の機能を確保することができた。
- ・都市公園の維持管理を行うことで、市民等に利用される公園を維持することができた。

8. 今後の方向性

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	4-4 緑地
・「緑地維持管理事業」及び「緑地維持管理計画推進事業」は、「4-4 緑地」に移行し、引き続き市有緑地の維持管理を進める。	
鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	4-9 公園
・引き続き、山崎・台峯緑地等の都市公園の整備を進める。 ・都市公園について、指定管理者による維持管理を実施する。 ・公園施設長寿命化計画に基づく施設の更新修繕を行う。	